



東京鷹桜同窓会報



ご挨拶

新会長 今 憲行 (S43年卒)



東京鷹桜同窓会会員各位には平素ご協力をいただき、ありがとうございます。年一度の会報発行時期となりました機会に、過去の会報に目を通してみました。あらためて同窓会の存在感を認識させられました。諸先輩

始め多くの世代にわたるさまざまな所感が寄せられていて、年輪を感じ、歴史の層がしっかりと積み重ねられていると思いました。

昨年、4年ぶりに総会・懇親会が開かれ、会場では「オー」とか「久しぶり！」などの声が飛び交い、お互いの息災を喜び合う光景が繰り広げられました。じっさいに顔を合わせ、会話をする楽しさや嬉しさが出席者の顔にあふれているのをみて、リアルな交流、交歓は大切だと思いました。今年も10月19日(土)開催です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

一方で、参加者の減少傾向が続くという心配があります。このような現状に対応するため、「ネットワークをつくり、声かけをする」、「ホー

ムページの活用」などの対策を考えたいと思います。具体的には、同窓会本部から定期的に発行される名簿や、過去に同窓会本部の会報に寄稿された方々の関係や、部活や地域のつながりなどを活用し、取り扱いに注意しながら積極的に参加や出席を呼びかけることが大切だと思います。これらが実を結ぶためにも、同窓会本部、支部そして学校との協力を密にして連携を深め、確かなものにしていきたいと思っています。

さらに同窓会は、年齢や性別に関係なく集まり、お話ししたり、聞いたりすることで会員同士親睦を深めることができます。また若い時はあまり意識しなかったが、年齢や環境の変化により、ある日急に身近に感じ、寄り集まることができる場でもあります。このように同窓会組織は、仲間とつながり、心身の健康のためにも魅力があります。

私達を取り巻く社会はデジタル化が加速し、リアルな人間関係などで環境変化が進んでいます。このような時期だからこそ同窓会はいままで通り、同窓のきずなを大切に、長く活動続けることにおおいに意義があると思います。会員の皆様のご支援をいただきながら、親しみのある楽しい会を目指して、幹事、役員一体となり、運営に取り組んでまいりたいと思います。引き続きご支援ご協力の程よろしく申し上げます。

校長ご挨拶

長井高校 校長 上浦 勤 (S59年卒)



日頃より東京鷹桜同窓会の皆様には、多大なるご支援をいただき心から感謝申し上げます。昨年は、校地南側に「山形県立長井高等学校」と校名が入った大きな看板をご寄付・設置いただき、誠にありがとうございました。

ございました。

私はこの4月から校長を務めている、上浦勤(かみうら つとむ)と申します。昭和59年卒の鷹桜同窓生です。よろしくお願ひします。

6月15日の午前には創立104周年記念式典が、午後には鷹桜同窓会総会・同窓生のつどいが盛大に執り行われました。150名を超える同窓生の皆様一堂に会し、高校時代にタイムスリップしたかのように、思い出話に花を咲かせて語り合う様子が印象的でした。このたびは、遠路にもかかわらず、今憲行東京鷹桜同窓会長様、佐藤元保副会長様にもご出席賜り、ありがとうございました。今会長とお話する中で感じた母校に対する想いやご自分の職業に対する熱意、そして東京支部の会員の皆様をより多く集め、さらに盛り上げていこうとする気概に感動いたしました。

ここで学校の様子を少しご紹介します。

今春の卒業生は168名で、そのうち53%の89名が国公立大学に合格しました。ここ10年間は約40%に届くかどうかでしたので、素晴らしい結果と分析しております。

6月の県高校総体では、陸上競技3名、ソフトテニス女子団体、競泳個人2名・男子フリーレー4×100mで東北大会への出場を決めております。その中で、陸上競技の男子100m・200m、女子400mハードルの2名が福岡県で開催されるインターハイ出場を決めました。

このように、学業面・特別活動面ともに、めざましい活躍を遂げています。これからも、創立以来受け継がれてきた「萬物我に備はる」の教育精神の下、きめ細かな指導で現役生を輝かせるため、教職員一同力を合わせて教育活動に邁進していく所存です。引き続きお力添えくださいますようお願い申し上げます。

同窓会会長ご挨拶

会長 小関 勝司 (S50年卒)



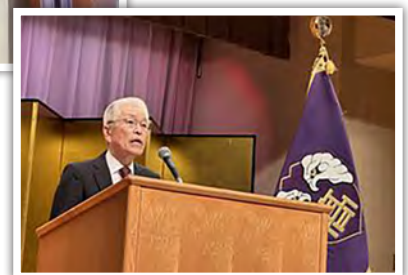
今会長様はじめ東京鷹桜同窓会の皆様には、日頃より長井高等学校鷹桜同窓会にご支援ご協力を賜り心から感謝申し上げます。

6月に鷹桜同窓会総会並びに「第48回同窓生のつどい」を開催いた

しましたが、東京鷹桜同窓会からも今会長様並びに佐藤副会長様にご出席をいただき、盛会のうちに終了することができました。誠にありがとうございました。昭和48年5月15日、母校の創立記念日に「第1回同窓生のつどい」が行われましたが、新型コロナの影響で3年連続中止となったものの、「同窓生のつどい」は51年もの間連続と続いてまいりました。先輩の皆様のご努力に敬意を表したいと思います。

東京鷹桜同窓会では、母校に対して物心両面にわたりご支援を続けておられますが、昨年はQRコード入り校名看板を寄贈されました。本年3月定年退職された青柳前校長先生も、母校に対する皆様の熱い思いに常々感謝の言葉を口にしておられました。その看板枠の右半分が空いているため、「萬物我に備はる」の看板がほしいとの要望があり、総会で予算を認めていただき、看板作成に向けて準備を進めているところでございます。皆様帰郷の折には、寄贈された校名看板と共に是非ご覧いただければ幸いに思います。

最後に会員の皆様のご健勝と東京鷹桜同窓会の益々のご発展を祈念申し上げます。



総会・懇親会レポート



副事務局長 大野 治雄
(S46年卒)

2023年10月21日(土曜日) レストラン「アラスカ」において総会・懇親会がコロナ感染の影響で4年振りに開催されました。

会場入り口には懐かしい味の玉こんにゃくや鯉の甘露煮などで出迎えます。

総会出席者はご来賓含め68名で、恩師の荒井勲夫先生(S39年～S49年)もお元気な姿を見せて頂きました。

総会は初めに小口副会長の開催の辞に続き工藤会長の再開への熱き思いのこもった挨拶があり、その後同窓会本部の小関勝司新会長、学校長の青柳様のご挨拶が続きました。横山様(S45年卒)の議長によりスムーズに議事が進行し母校への看板設置案件などすべての議案は承認されました。その後新役員が紹介され佐藤副会長の閉会の辞で無事総会は終了しました。

いよいよ懇親会です。藤野副会長の開催の辞に引き続き黒澤様(S31年卒)の乾杯で、一気におしゃべりと笑い声が会場に広がりました。恩師荒井先生の近況報告があり、お元気に毎日をお過ごしとのお話がありました。

この3年間中止を余儀なくされた懇親会は、

コロナ禍のトンネルの先によく光を見いだせた様な思いや笑顔がみられ、終始和やかな雰囲気が進みました。終盤を迎え八木さん(S51年卒)による伴奏で合唱、校歌斉唱へと進み最後に絆を深めるために完戸様(S44年卒)のエンゼルで懇親会は閉じました。

大滝 二三夫 (S37年卒)

81歳ともなると記憶が定かでない。読者の方も役員に勧められ81歳の私が書いたものと承知して読んで頂きたい。

私はソニーを早期退社し、数年はサラリーマンを続けたが、2005-6

年には毎日が日曜日の生活になった。その時は「年1回は海外旅行を」、「健康のためのゴルフを続ける」そして「寿司を楽しむ」など第2の人生を満喫する目標を持っていた。そんなある日現副会長で同級生の佐藤元保君の紹介で同窓会総会に参加した。会合でひとの輪に溶け込むのが得意ではない私だが、可能な限り総会に参加し、ゴルフの仲間作りを話題にしてみた。そして2012年5月、元副会長の飯澤さんが中心で初回イーグル会が開かれ、小生が優勝し、飯澤さんからイーグル会会長を打診され、2018年まで6年間務めることとなった。

私にすれば総会とはゴルフ仲間を見つける場である。



丸山 安子(S41年卒)

＜同窓会の醍醐味＞

4年ぶりの総会・懇親会。母校の様子を青柳校長先生の現況報告で知るにつけ、同窓会の存在の意義を痛感しながら気持ちは久方ぶりの再会に乾杯。来賓の荒井先生とは卒業以来の57年ぶり。演劇好きの先生の手引きのもと「人生は劇場なり」のシェイクスピアの言葉を掲げて会員募集のポスター貼り。そして演劇愛好会発足。翌1966年に初めて「演劇クラブ」誕生。愛好会としての1年は部活費が貰えず寄付金集めに奔走したと、当時を振り返る友。でも無いから皆で作上げた充実感荒井先生のご指導があったこそと思います。



恩師の荒井先生と

隣席では、荒砥中学時代の憧れの恩師と涙の離任式以来の61年ぶりの再開に、手を取り合っで感慨に浸っている当時の15歳の女生徒と24歳の先生。これらの事こそ同窓会の醍醐味の一つではないかと会長さん達に感謝です。

同窓会の流れで「喜寿を祝う会」に発展。4月末、長井はぎ苑で64名の参加で大盛会。



関(旧姓 蒲生) 知恵子 (S50年卒)

＜東京鷹桜同窓会に初参加して＞

私は卒業以来初めて昨年10月の同窓会に参加させていただき、懐かしい先輩方や唯一

の後輩の方との再会を果たすことができました。

心境の変化は昨年夏、コロナ禍後数年ぶりのお盆の帰省の際、今まで50年近くも行ったことなかった長井市内を兄夫婦が車で案内してくれたことでした。全国初の市役所と一体となった新しい長井駅、グンゼ跡地に建てられた子育て支援や図書館などの複合施設『くるんと』『道の駅川のみなと長井』など、未来に向けた長井の新たな姿に目を見張りました。その勢いで、母校吹奏楽部の先輩のお宅(薬局)を訪ねたところ49年ぶりに再会もできました。この時からふるさと長井や大切な母校同窓会への思いが自然に沸き上がり初参加につながりました。同窓会はまだ早いと思っている若い方にはぜひ、今年こそ参加されることをお勧めいたします。

2024年東京鷹桜同窓会総会・懇親会開催のご案内

日時: 2024年10月19日(土) 10時30分 (受付開始)

総会 11時00分～11時30分
懇親会 11時45分～14時30分

場所: レストランアラスカ 日本プレスセンター店

東京都千代田区内幸町 2-2-1 日本プレスセンタービル10階
TEL 03-3503-2731

会費: 8,000円(例年通り)、年会費 2,000円、寄付金 1口 1,000円(任意)

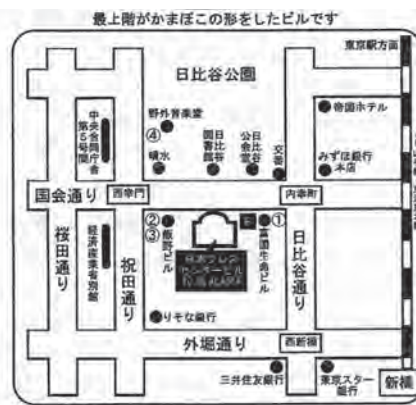
同封の払込取扱票に額を記入し、最寄りの郵便局で払い込みください。

◇会場では、毎年好評の、長井のミニ物産展を開いています。玉こんにゃくや那須漬などを販売しています。是非ご利用ください。

《日本プレスセンタービルへのアクセス》

- ◇都営地下鉄・三田線 内幸町駅 出口A-7 徒歩1分
- ◇東京メトロ・千代田線・日比谷線 霞ヶ関駅 出口C-4 徒歩2分
- ◇東京メトロ・丸の内線 霞ヶ関駅 出口B-2 徒歩4分
- ◇JR新橋駅 日比谷口(SL広場前) 徒歩10分

会場への地図はQRコードでもご確認ください



2023年度 決算報告

一般会計

2023.6.1-2024.5.31 単位：円

収入の部	2023 決算	2023 予算	差異
年会費	400,000	370,000	30,000
懇親会費	496,000	540,000	▲44,000
寄付金	206,000	250,000	▲44,000
本部助成金	13,000	13,000	0
会報広告収入	3,000	0	3,000
前期繰越金	1,519,884	1,519,884	0
お祝い金	46,000		46,000
小計	2,683,884	2,692,884	▲8,973

支出の部	2023 決算	2023 予算	差異
総会費	229,610	300,000	70,390
懇親会費	468,500	500,000	31,500
会議費	110,270	60,000	▲50,270
名簿管理費	24,000	5,000	▲19,000
通信費	20,450	2,000	▲18,450
広報費	249,255	420,000	▲170,745
支払手数料	53,360	35,000	▲18,360
消耗品費	0	3,000	3,000
本部派遣費	104,200	75,000	▲29,200
支払寄付	298,000	0	▲298,000
交際費	20,000	0	▲20,000
交通費	25,000	0	▲25,000
次期繰越金	1,081,239	1,292,884	▲211,645
小計	2,683,884	2,692,884	▲8,973

特別会計

2023.6.1-2024.5.31 単位：円

収入の部	2023 決算	2023 予算	差異
雑収入(利子)	27	25	▲2
前期繰越金	2,289,392	2,289,392	0
小計	2,289,419	2,289,417	▲2

支出の部	2023 決算	2023 予算	差異
支出金	0	0	0
次期繰越	2,289,419	2,289,417	▲2

2024年度役員

会長	今 憲行 (S43卒)
副会長	佐藤 元保 (S37卒) 藤野由美子 (S43卒)
副会長兼 学年幹事長	井澤 小一 (S45卒)
副学年幹事長	横山 和彦 (S45卒)
事務局 局長	八木 倫明 (S51卒)
副事務局 局長	大野 治雄 (S46卒)
監 査	鈴木 仁 (S38卒) 木村 清次 (S44卒)

2024年度 予算

一般会計

2024.6.1-2025.5.31 単位：円

収入の部	前年度決算	2024 予算	差異
年会費	400,000	400,000	0
懇親会費	496,000	500,000	4,000
寄付金	206,000	210,000	4,000
本部助成金	13,000	13,000	0
会報広告収入	3,000	3,000	0
前期繰越金	1,519,884	1,081,239	▲438,645
お祝い金	46,000	30,000	▲16,000
小計	2,683,884	2,237,239	▲446,645

支出の部	前年度決算	2024 予算	差異
総会費	229,610	250,000	20,390
懇親会費	468,500	500,000	31,500
会議費	110,270	110,000	▲270
名簿管理費	24,000	5,000	▲19,000
通信費	20,450	22,000	1,550
広報費	249,255	250,000	745
支払手数料	53,360	53,000	▲360
消耗品費	0	3,000	3,000
本部派遣費	104,200	110,000	5,800
支払寄付	298,000	0	▲298,000
交際費	20,000	20,000	0
交通費	25,000	30,000	5,000
次期繰越金	1,081,239	884,239	▲197,000
小計	2,683,884	2,237,239	▲446,645

特別会計

2024.6.1-2025.5.31 単位：円

収入の部	前年度決算	2024 予算	差異
雑収入(利子)	27	20	▲7
前期繰越金	2,289,392	2,289,419	27
小計	2,289,419	2,289,439	20

支出の部	前年度決算	2024 予算	差異
予備費	0	100,000	100,000
次期繰越費	2,289,392	2,189,439	▲99,953

2024年6月1日~2024年11月迄の活動計画

- 2024年06月15日(土) 本部鷹桜同窓会総会(長井:今会長、佐藤副会長参加)
- 2024年08月31日(土) 第4回役員会/後期学年幹事会
- 2024年10月19日(土) 東京鷹桜同窓会総会・懇親会『レストランアラスカ』

乃木坂歯科クリニック

院長 藤野よし男
藤野由美子 (昭和43年卒)

〒107-0052 港区赤坂9-5-26/パレ乃木坂202
TEL 03-3404-9838

年に1回は、歯のチェックを!

長井市アンテナショップ 長井市東京事務所

(一財)置賜地域地場産業振興センター
東京事務所

〒144-0051
東京都大田区西蒲田8-3-6橋本ビル1F
TEL/FAX 03-6424-7860

傘寿の集いを実施しました

佐藤 元保 (S37年卒)

昭和37年卒の我々は令和5年に等しく満80歳となったため、手近な同級生にお声掛けし、令和5年7月16日、長井のはぎ苑で傘寿の集いを盛大に行いました。

参加者は男子女子共に6名ずつで、遠くは大阪からも駆けつけて頂き、楽しくも懐かしいひと時を過ごしました。

体調が悪くて来たくても来れなかった兵庫の方や、難病で伏せておられる旨奥方から返信のあった山形の方、宮城から祈念の銘菓を送って頂いた方には、色紙の中央に当日の参加者の記念写真(下)を配置した全員の寄せ書きを用意し、それぞれ長井の名産品とともに地元の幹事の方から贈らせて頂きました。

今年も何らかの企画をしたいと検討中です。当日の写真を添付します。



*筆者は前列左から4人目

仕事と趣味を楽しむ第三の人生 トランペットに再挑戦

梅村 互 (S52年卒)



高校卒業後、東京の大学に進学、そして就職した医療機器メーカーで仕事に没頭。気がつけば故郷を離れて47年、65歳となりました。実家も整理し、長井は年に数回墓参りに訪れるだけとなりました。

仕事では、一貫して

海外の仕事に携わりました。米国に通算21年駐在し、二人の子供も米国で生まれました。仕事で特に力を注いだのは、人工心臓の開発プロジェクト。米国で新会社を立ち上げ、副社長として開発を支え、欧州と日本で販売に漕ぎつけました。世界合計260人の患者さんの命を救うことに貢献できたことは、最高の喜びでした。2018年末に帰国して定年退職。その後同業のメーカーに再就職し、現在もフルタイムで働いています。

高校、大学時代は勉強そっちのけで趣味のトランペットに没頭しましたが、海外駐在を機に演奏から遠ざかってしまいました。しかし昨年秋、衝動に駆られ楽器を新調して練習を再開しました。今年の春には社会人オーケストラになんとか入れて貰い、9月には演奏会再デビューを果たす予定です。

最近思うこと

佐藤 俊之 (S60年卒)



同窓会会員の皆様におかれましてはご清栄のこととお慶び申し上げます。

私は2022年春に会社を興し、週末がほぼ仕事になったため私の勝手なお願いで昨年同窓会のお役目を解いて頂きました。役員の皆様には

大変ご迷惑をお掛け致しました。

息子は去年社会人になり独立、娘は中2の反抗期真っ盛り、当時の自分を振り返り娘は僕よりまだマシだなあと温かく見守っています。

親が80代になり、近年で義父は亡くなり義母は熱海の老人用マンションに引っ越し、長井の母は施設に入所し、父は初めての家事や自炊。家族の状況が目まぐるしく変化する中で、終活の大切さを痛感しました。

あと2年で還暦、最近つくづく人生は短いと感じます。やりたいことはすぐ始めないと。同級生の皆さんも子育て、子離れ、親の介護、仕事の変化などいろんな状況を懸命に生きていらっしゃるかと思います。

還暦の時にでもまた集まって楽しく語り合しましょう。

令和5年の同窓会総会で、 母校へ校名の看板を寄付しました

佐藤 元保 (S37年卒)

これは同年春、工藤前会長が青柳母校前校長に寄付を申し出た際、テニスコートフェンスに設置する校名入りの看板を要望されたため、10月の総会にご招待した同校長にその目録をお渡ししたものです。

この資金は、これまでコロナ禍で総会が実施でき

なかった年次の同窓会総会予算から拠出しました。
看板は令和5年11月27日に設置され、母校多田事務部長から下の写真と共に御礼の手紙を頂きました。



春のイーグル会ゴルフコンペ

須藤 勝味 (S46年卒)

去る4月24日春のイーグル会ゴルフコンペが大宮カントリークラブで行われました。

当日はあいにくの空模様にもかかわらず6名の猛者たちが雨にもめげずにプレーしました。

前半は最悪のコンディションでしたが後半は次第に雨も上がり全員無事にホールアウト！

スコアはともかくみなさん安堵感と達成感(?) ありありのコンペとなりました。

悪条件の中で安定したスコア(47,49 NET72.0)でまわられた遠藤文郎さんが見事優勝でした。イーグル会は回を重ねること19回になりました。昭和27年卒の方から同じく62年卒まで登録された会員の中には、全47都道府県のゴルフ場をご夫婦でプレーされた四釜和子さんご夫妻

もいらっしやいます。年齢を超えたあまたのゴルフ愛好家のみなさんが集い楽しむ同好会です。秋のコンペは優勝した遠藤さんが幹事で来る10月23日(水)埼玉県の名コース「大宮ゴルフコース」にて開催予定です。過去に参加された方へは幹事より3か月位前までに案内があります。組数の関係もあるので早めの返事をお願いします。また初参加希望の方は下記メールアドレスへご連絡をお願いします。みなさんのご参加をお待ちしています。

幹事(遠藤) Email: fchm_0916_007355@ezweb.ne.jp



*筆者が一番右

東京鷹桜同窓会 俳句 2024

福田 ふみ子 (S38年卒)

作品を提供された方は、夫々結社に所属しながら、仲間同士で励まし合い鷹桜俳句会活動を続けております。皆さんの作品をご紹介します。

- 福田ふみ子 (昭和三十八年卒)
- ・水温む父の愛でたる鯉動く
 - ・子等遊ぶ声屋上まで日永かな
 - ・川の音暑さ忘るる合歓の花
 - ・白壁に南天の実たわわなる
 - ・別れゆく心残りや去年今年
- 宮崎正義 (昭和四二年卒)
- ・言の葉で絵を描きたし春吟行
 - ・花御堂訪ふ人の笑顔かな
 - ・ふるさとの単線一両秋うらら
 - ・片雲の飛び行く先の枯野かな
 - ・冬落暉琥珀色なす大櫛

- 大場八朗 (昭和二十七年卒)
- ・初風呂や生きてる吾は至福者
 - ・花爛漫胸焦がすかな恋の歌
 - ・夏来たる東京水のうまきこと
 - ・秋盛り二人の客はイタリー人
 - ・おでん炊く味の深みは秘伝なり
- 大志田勇志 (昭和三十八年卒)
- ・わが夢に来て夏蝶は水を飲む
 - ・菊の花食へばしみじみ命の香
 - ・返り花なにを今更そんなこと
 - ・踏み出せばそこに死のある草紅葉
 - ・よもや黄泉路か冬枯の散歩道

こころの鈴の音コンサート報告

八木 倫明 やぎ・りんめい (S51年卒)



6月3日(月)と4日(火)に、川越と武蔵小金井で「金子みすゞ生誕121年こころの鈴の音コンサート」を行ないました。生誕100年の2003年に九州最大の劇場「博多座」で『金子みすゞ物語』の主役を務めた俳優

を福岡から招いて2020年から東京で毎年開催しています。今回は東京鷹桜同窓会のご後援をいただき、60歳代の会員と、2017～19年の母校百周年石碑を贈るコンサートに参加された会員合計170人への郵送費などを広報費として拠出いただきました。石碑を贈るコンサートには、秋の総会・懇親会に不参加の方々もかなり参加されていましたので、6月頃のやぎりんコンサートに会員が集い、秋にまた会いましょうというきっかけにしようという趣旨でした。60代の会員には「会いたい恩師はいませんか?」というアンケートを入れました。大場紘一先生、中川晴海先生などのお名前が上がりました。

川越に7人、小金井に3人の会員が参加され、川越には、まだ総会に参加されたことのない60代の会員も参加され、今憲行会長にご紹介しました。



編集後記

(編集長 今憲行)

この度は昔「壁新聞」を手掛けて以来の編集作業でした。慣れない上に締め切り時間は決まっておき、皆さんから原稿が届くたびに胸をなでおろし感謝の気持ちで一杯でした。今回も同窓会長、学校長始めたくさんの会員の方にお忙しい中ご協力頂きありがとうございました。おかげさまで多彩な内容のエッセイ・レポートを盛り込むことが出来ました。尚諸物価が高騰しておりページ数を減少せざるを得ませんでした。4年振りの総会・懇親会の写真をできるだけ掲載し、元気な仲間をご紹介したいと思いました。今年の総会でお会いできるのを楽しみにしております。

《 学年幹事の皆さん 》

(2024年6月1日現在)

卒年	名	前
昭30高	片倉新治	
昭31南	小形正明	
昭32南	横山健次郎	
昭36南	末吉暁子	
昭37南	荒生保男	
昭37南	大滝二三夫	
昭37北	大島陽子	
昭38南	影山勝範	
昭38南	中本恵美子	
昭38南	小関武	
昭39南	丸川満	
昭40高	黒沢輝夫	
昭41高	菊地淳二	
昭41高	滝沢久	
昭41高	今井直枝	
昭41高	五十嵐正樹	
昭42高	宮崎正義	
昭42高	平田節雄	
昭42高	佐藤さち子	
昭43高	鈴木勉	
昭44高	完戸康男	
昭44高	沼沢幸雄	
昭44高	浅野陽一	

卒年	名	前
昭44高	高尾美世子	
昭45高	中田啓子	
昭45高	宗司信明	
昭45高	中山和弘	
昭46高	樋口利美	
昭46高	桑島寛之	
昭46高	竹田英也	
昭47高	竹田茂	
昭47高	中萩真知	
昭48高	鈴木俊彦	
昭49高	遠藤剛	
昭49高	那須優則	
昭52高	阿曾亮子	
昭53高	高橋直樹	
昭57高	高橋好則	
昭57高	佐野勝彦	
昭57高	沼澤秀雄	
昭58高	鈴木祐子	
昭59高	菅野和彦	
昭60高	佐藤俊之	
昭63高	青木昌智	
平04高	井上博司	
平11高	小樽奈々子	

東京鷹桜同窓会事務局

八木 倫明

〒120-0001

東京都足立区大谷田2-3-35

ボナハイツ中川3-1011

TEL: 080-5379-4929

E-mail: yagirin88@gmail.com

